

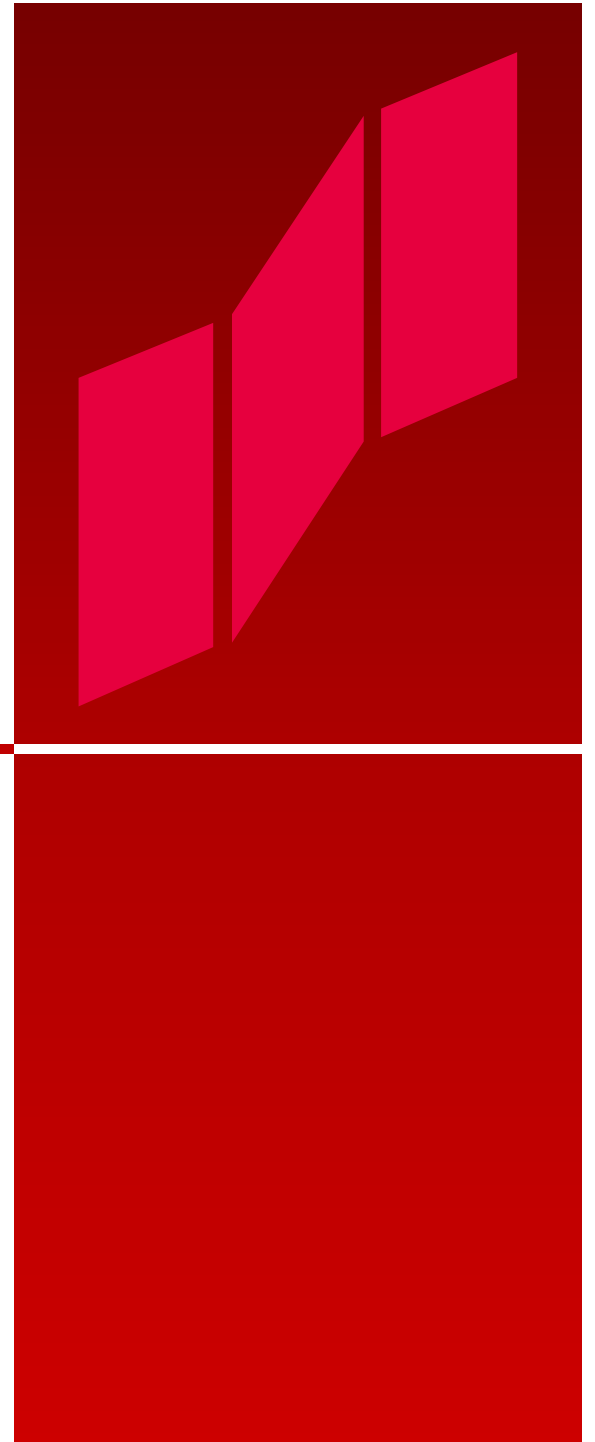
2018年3月期 第1四半期決算説明資料

SMBC日興証券株式会社

2017年7月25日

いっしょに、明日のこと。
Share the Future

 SMBC日興証券



		[参考資料]	
2018年3月期 第1四半期決算サマリー	2	四半期損益推移 (連結)	19
純営業収益・商品販売の状況	3	四半期損益推移 (SMBC日興証券)	20
業績の四半期推移	4	営業指標-1	21
株式委託手数料	5	営業指標-2	22
投信募集・ファンドラップ・代行手数料等	6	営業指標-3	23
トレーディング損益	7		
引受関連手数料 (株式・債券)	8		
M&A	9		
三井住友銀行との連携について	10		
(参考資料) 銀証合算のリテール運用資産残高について	11		
販売費・一般管理費	12		
連結貸借対照表・自己資本規制比率の状況	13		
預り資産残高・資産導入額	14		
海外拠点の業績推移	15		
海外ネットワーク	16		
トピックス	17		

・本資料は、当社の業績等に関する情報の提供を目的として、2017年7月25日現在のデータに基づいて作成しております。また、本資料には資料作成時点の当社の見解を記載しており、当社は、その正確性及び完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更することがあります。

※ 連結決算を開示しております。特段の記載のないものは連結の業績を記載しております。

2018年3月期 第1四半期決算サマリー

前年同期比	<ul style="list-style-type: none"> ■ 純営業収益821億円(前年同期比+12%) 経常利益209億円(同+33%) 当期純利益(*1) 144億円(同+35%) 前年同期と比べて円安・株高が進行し、一部を除き収益全般が増加 ■ 株式委託売買代金は7.2兆円(同+18%) 商品販売額合計(ファンドラップ販売を含む)は2.5兆円(同+6%)と前期から引き続き堅調に推移 ■ 2017年度リーグテーブルは、グローバル株式・ブックランナー6位(*2)、新規公開株式引受・主幹事取引金額ベース2位・案件数ベース3位、円債総合・主幹事1位(*3)、M&A公表案件取引金額ベース2位、案件数ベース1位(*4) ■ 販売費・一般管理費は623億円(同+6%) ■ 2017年6月末の総資産12.2兆円、純資産5,484億円、自己資本規制比率(SMBC日興証券単体)は337%と安定した財務基盤を維持
前四半期比	<ul style="list-style-type: none"> ■ 純営業収益 前四半期比-17%、経常利益 同-33%、当期純利益 同-30% ■ 前四半期と比較すると大型の株式引受案件が減少し、引受手数料を中心に減少

経営成績 (単位: 億円)	17/3期		18/3期	前年同期比 増減率	前四半期比 増減率
	1Q	4Q	1Q		
営業収益	810	1,108	914	+13%	-17%
純営業収益	736	995	821	+12%	-17%
販売費・一般管理費	588	698	623	+6%	-11%
経常利益	157	313	209	+33%	-33%
税金等調整前当期純利益	152	292	205	+35%	-30%
当期純利益(*1)	107	206	144	+35%	-30%
財政状態	2016年 6月末	2017年 3月末	2017年 6月末	前年同期比 増減額	前四半期比 増減額
総資産	10.9兆円	11.6兆円	12.2兆円	+1.3兆円	+0.6兆円
純資産	6,964億円	5,442億円	5,484億円	-1,480億円	+41億円

(*1) 当社株主に帰属する当期純利益

(*2) 出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成

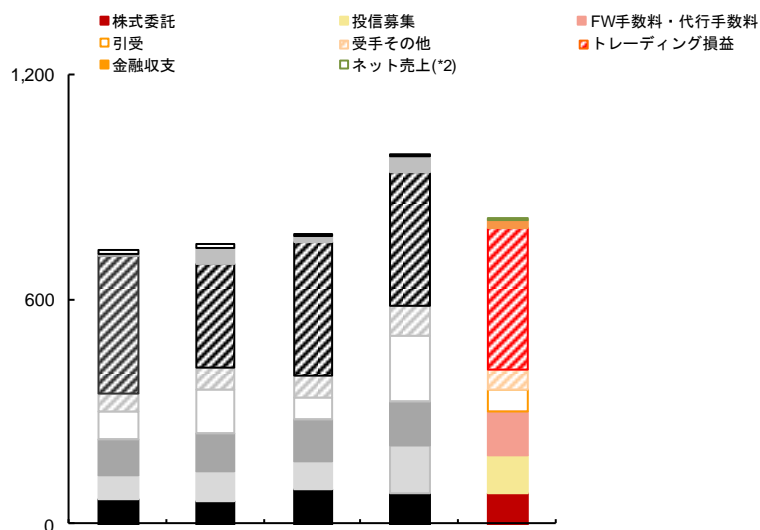
(*3) 出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成

(*4) 出所: THOMSON REUTERS 日本企業関連M&A公表案件

純営業収益・商品販売の状況

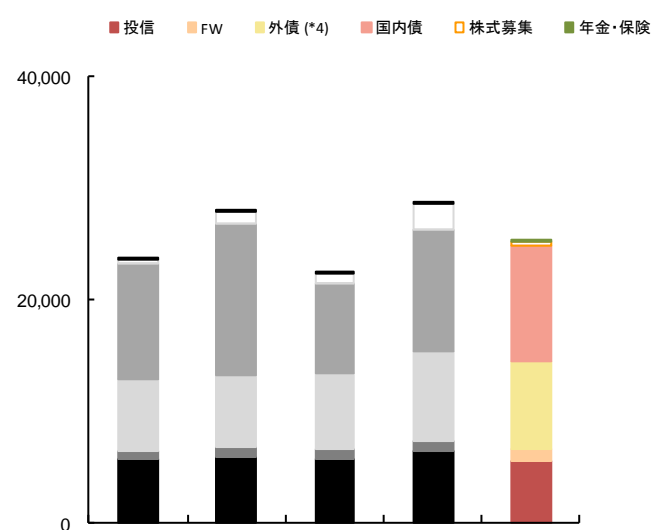
- ◇ 第1四半期の純営業収益は821億円(前年同期比+12%、前四半期比-17%)
前年同期比では、株式委託手数料や投信募集手数料、ファンドラップ手数料・代行手数料が増加。前四半期比では、引受手数料を中心に減少
- ◇ 第1四半期の商品販売額合計は2兆5,295億円(同+6%、同-12%)。前年同期比、前四半期比共に国内債や外債の販売が堅調に推移

純営業収益 推移(億円)



	17/3期 1Q	2Q	3Q	4Q	18/3期 1Q	前年同期比	前四半期比
株式委託	66	63	94	87	86	+31%	-1%
投信募集	67	81	78	128	100	+49%	-22%
FW手数料・ 代行手数料(*1)	96	99	108	113	117	+22%	+4%
引受	75	121	62	180	56	-25%	-69%
受手その他	47	59	58	79	55	+17%	-31%
トレーディング損益	367	272	357	356	380	+3%	+7%
金融収支	7	44	13	42	21	2.9倍	-49%
ネット売上(*2)	8	11	7	7	2	-66%	-61%
合計	736	754	780	995	821	+12%	-17%

商品販売額 推移(億円)(*3)



	17/3期 1Q	2Q	3Q	4Q	18/3期 1Q	前年同期比	前四半期比
投信	5,619	5,832	5,606	6,479	5,507	-2%	-15%
FW	748	931	921	849	1,056	+41%	+24%
外債(*4)	6,570	6,388	6,904	7,948	7,873	+20%	-1%
国内債	10,218	13,578	7,948	10,941	10,416	+2%	-5%
(うち個人向け国債)	(1,320)	(1,844)	(1,783)	(3,494)	(1,291)	(-2%)	(-63%)
株式募集	511	1,175	888	2,380	358	-30%	-85%
年金・保険	100	43	116	89	85	-15%	-5%
合計	23,765	27,949	22,384	28,687	25,295	+6%	-12%

【SMBC日興証券単体】

(*1) 2018年3月期第1四半期より、ファンドラップ手数料を受手その他からFW手数料・代行手数料へ組み替えて表示(2017年3月期も遡及して変更)。また、代行手数料はカストディーフィーを含む

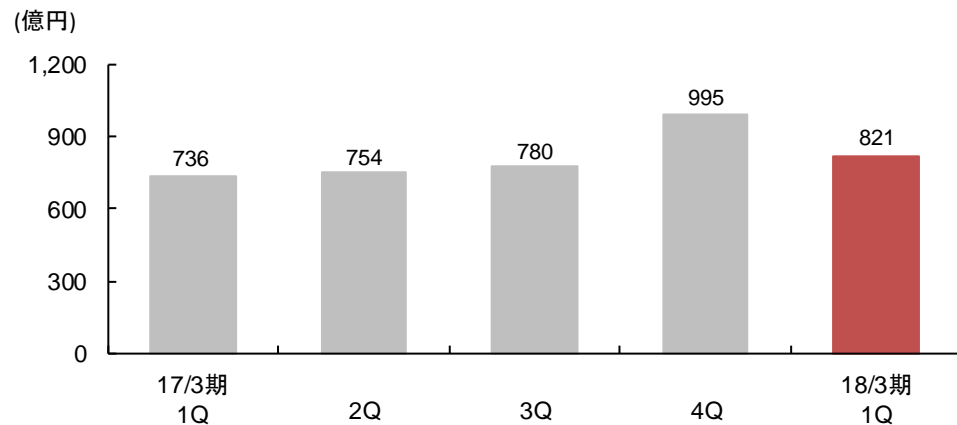
(*2) 売上高-売上原価

(*3) 2018年3月期第1四半期より、ファンドラップ販売額を商品販売額へ含めて集計

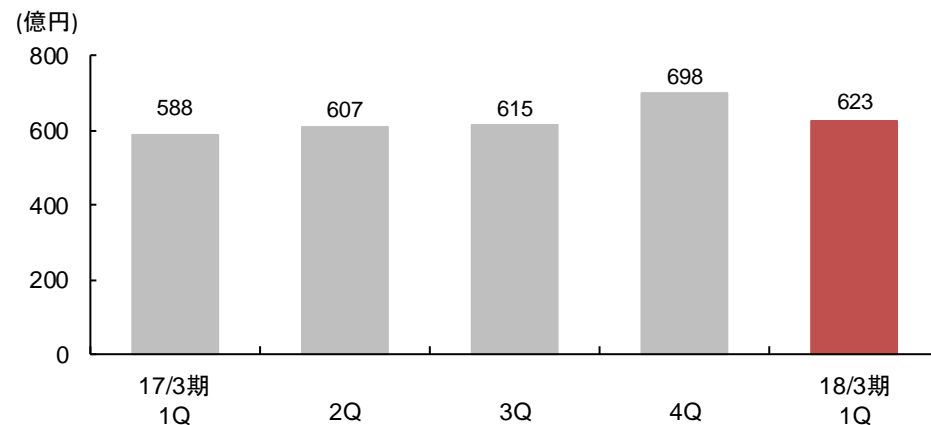
(*4) 外債販売は、既発債の販売も含む。円建外債は、外債に含む

業績の四半期推移

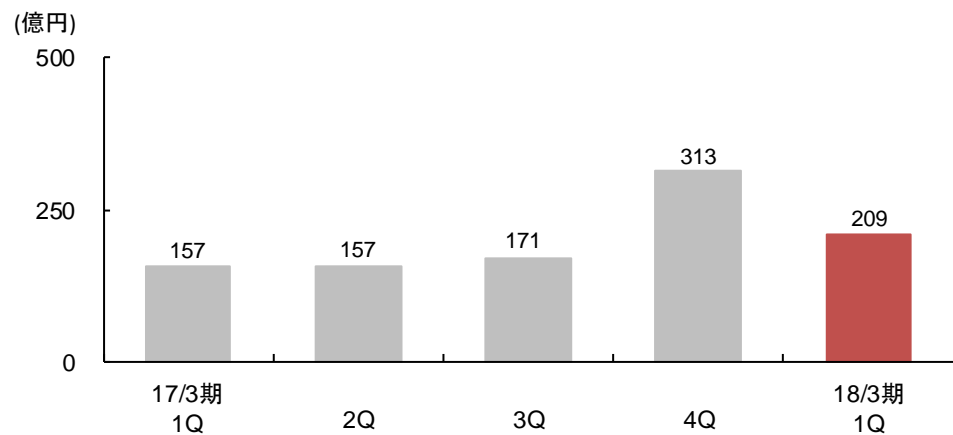
純営業収益



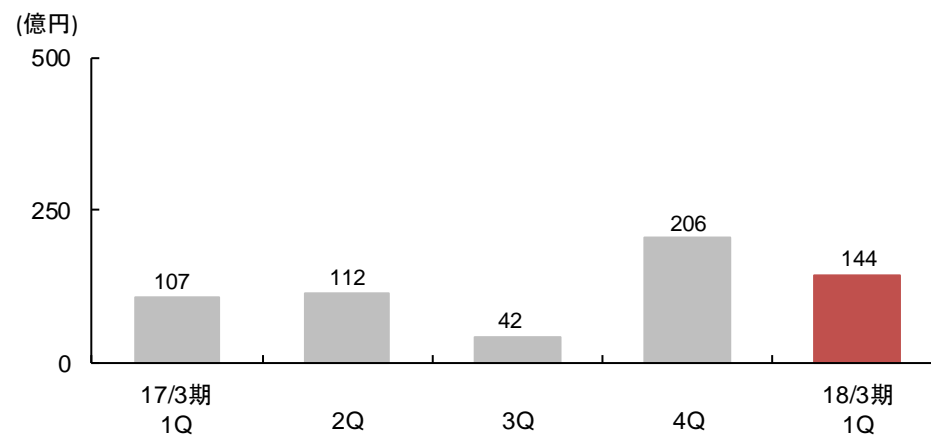
販売費・一般管理費



経常利益



当期純利益(*)

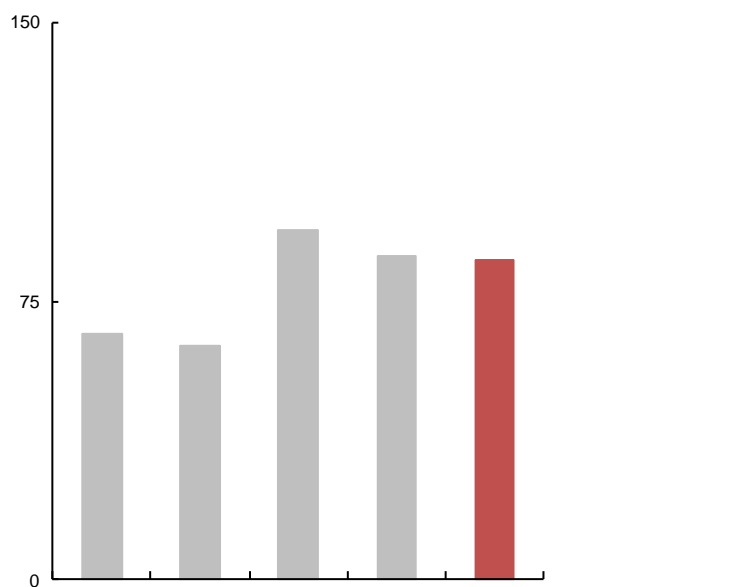


(*) 当社株主に帰属する当期純利益

株式委託手数料

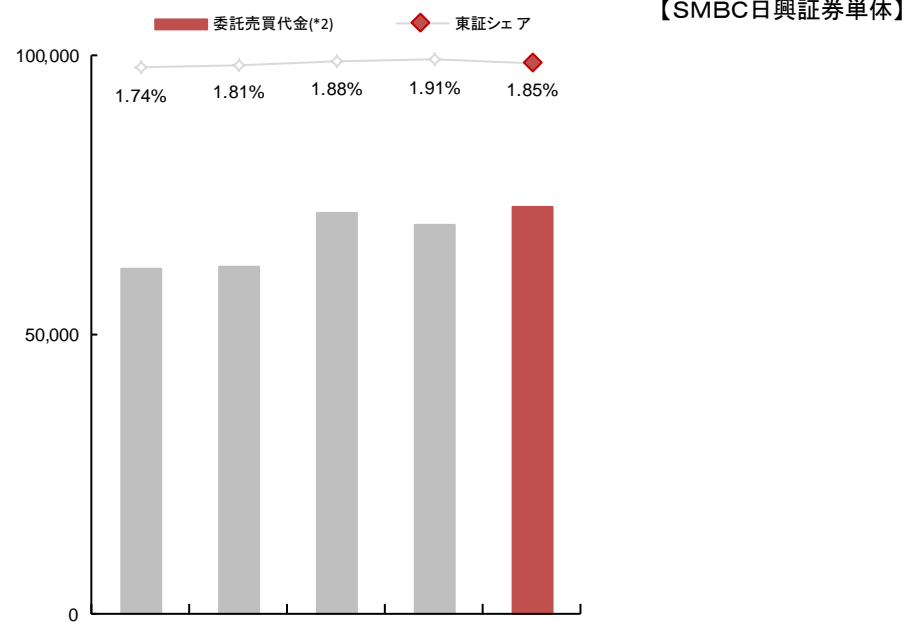
◇ 第1四半期の株式委託売買代金は7兆2,959 億円(前年同期比+18%、前四半期比+5%)、株式委託手数料は86億円(同+31%、同-1%)
個人顧客を中心とした取引が増加し、東証シェア・個人委託シェアは共に前年同期比上昇

株式委託手数料 推移(億円)



	17/3期	2Q	3Q	4Q	18/3期	前年同期比	前四半期比
株式委託	66	63	94	87	86	+31%	-1%
委託手数料率(*1)	9.4bp	8.9bp	11.5bp	11.1bp	10.8bp	+1.4bp	-0.3bp

株式委託売買代金・東証シェア 推移(億円、%)



	17/3期	2Q	3Q	4Q	18/3期	前年同期比	前四半期比
委託売買代金(*2)	61,785	62,264	71,979	69,522	72,959	+18%	+5%
東証シェア	1.74%	1.81%	1.88%	1.91%	1.85%	+0.11pt	-0.05pt
個人委託シェア(*3)	2.66%	2.87%	3.45%	3.52%	3.64%	+0.97pt	+0.11pt

(*1) 調整後株式委託手数料÷株式委託売買代金(集計対象:現物及び信用取引)

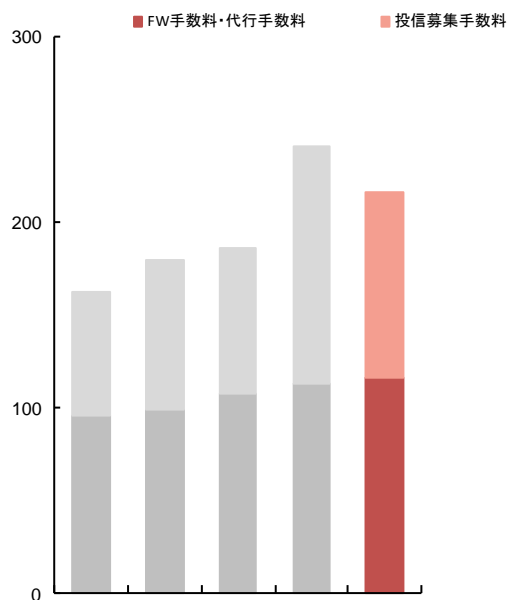
(*2) 集計対象は全市場

(*3) 集計対象は東証・名証の一部・二部等

投信募集・ファンドラップ・代行手数料

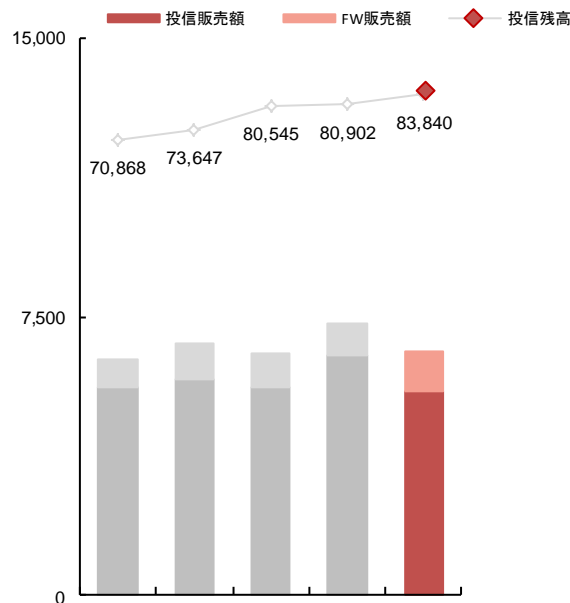
- ◇ 第1四半期の投信販売額は5,507億円(前年同期比-2%、前四半期比-15%)、投信募集手数料は100億円(同+49%、同-22%)と株投の販売が増加し、前年同期比増加
- ◇ ファンドラップを含む投信残高は8兆3,840億円(同+18%、同+4%)、ファンドラップ手数料・代行手数料は117億円(同+22%、同+4%)

投信募集手数料等 推移(億円)^(*1)



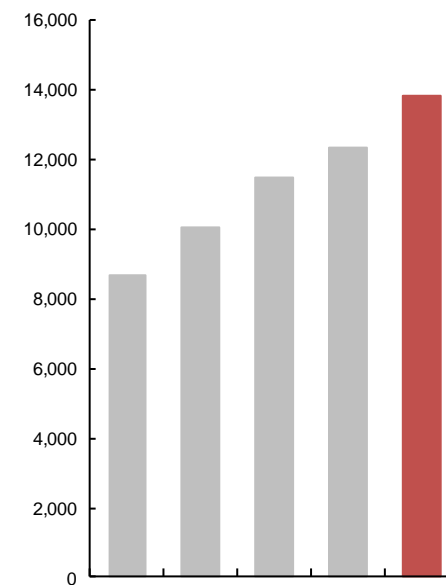
	17/3期	2Q	3Q	4Q	18/3期	前年同期比	前四半期比
	1Q				1Q		
投信募集手数料	67	81	78	128	100	+49%	-22%
FW手数料・代行手数料	96	99	108	113	117	+22%	+4%

投信販売額/投信残高 推移(億円)



	17/3期	2Q	3Q	4Q	18/3期	前年同期比	前四半期比
	1Q				1Q		
投信販売額	5,619	5,832	5,606	6,479	5,507	-2%	-15%
FW販売額	748	931	921	849	1,056	+41%	+24%

ファンドラップ残高 推移(億円)^(*2)



17/3期	2Q	3Q	4Q	18/3期
1Q				1Q
8,693	10,043	11,518	12,333	13,853

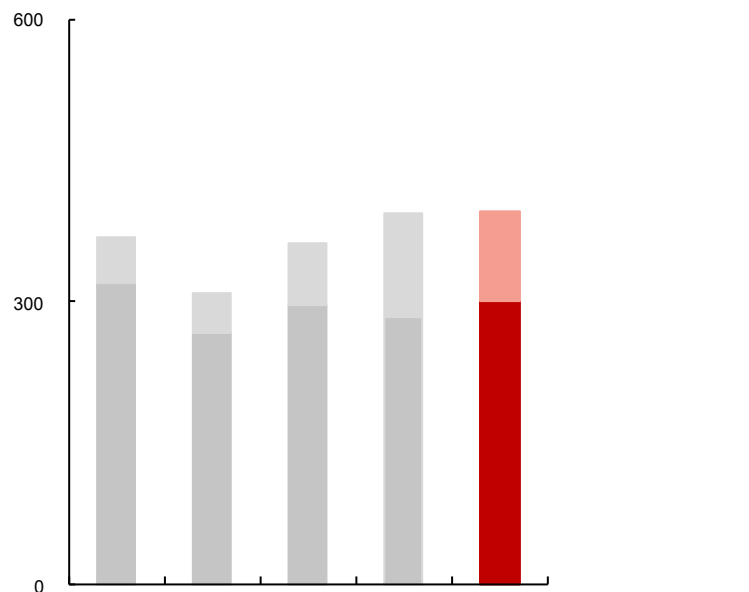
(*1) 2018年3月期第1四半期よりファンドラップ手数料を含めて表示。代行手数料はカストディーフィーを含む
 (*2) ファンドラップ残高は当社における預り残高を集計

トレーディング損益

◇ 第1四半期のトレーディング損益(金融収支調整後)は396億円(前年同期比+7%、前四半期比+0%)、外債販売額は7,873億円(同+20%、同-1%)
債券等・その他トレーディング損益が前四半期までの高水準を維持した他、外国株式の店頭取引が好調となった株券等トレーディング損益は
前年同期比大きく増加

トレーディング損益(金融収支調整後) 推移(億円)

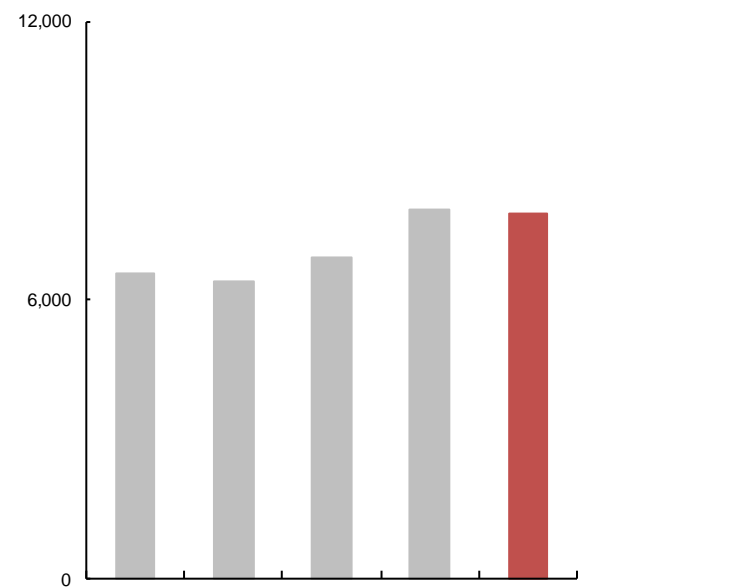
■ 債券等・その他(*2) ■ 株券等(*1)



	17/3期 1Q	2Q	3Q	4Q	18/3期 1Q	前年同期比	前四半期比
株券等(*1)	48	42	66	112	95	+97%	-15%
(うち配当等)	(5)	(40)	(9)	(45)	(9)	(+82%)	(-78%)
債券等・その他(*2)	320	268	297	283	301	-6%	+6%
(うち利子)	(-3)	(-2)	(-1)	(-5)	(6)	(-)	(-)
合計(*3)	369	311	364	396	396	+7%	+0%

外債販売額 推移(億円)

【SMBC日興証券単体】



	17/3期 1Q	2Q	3Q	4Q	18/3期 1Q	前年同期比	前四半期比
外債販売額	6,570	6,388	6,904	7,948	7,873	+20%	-1%

・ 配当落ち等の影響を補完したトレーディング損益(金融収支調整後)を表示

(*1) 金融収支のうち、トレーディングポジションから生じる配当等(純額)を集計範囲に含む(一部レンディングによる配当含む)

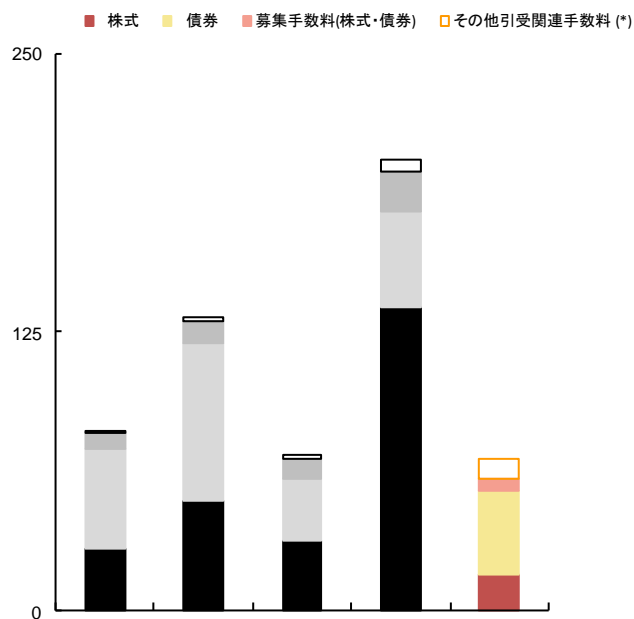
(*2) 金融収支のうち、トレーディングポジションから生じる債券利子(純額)を集計範囲に含む

(*3) ファンディングコストは集計範囲に含まない

引受関連手数料 (株式・債券)

- ◇ 第1四半期の引受手数料は、株式引受手数料が減少し、56億円(前年同期比-25%、前四半期比-69%)
- ◇ 2017年度 グローバル株式・株式関連-日本・ブックランナーは6位(シェア9.9%)、新規公開株式引受・主幹事は案件数ベース3位・取引金額ベース2位、新規円債総合-主幹事は1位(シェア19.5%)

引受関連手数料(株式・債券) 推移(億円)



	17/3期	1Q	2Q	3Q	4Q	18/3期	1Q	前年同期比	前四半期比
引受手数料	75	121	62	180	56	-25%	-69%		
株式	28	49	31	136	16	-44%	-88%		
債券	45	71	28	43	38	-14%	-10%		
募集手数料(株式・債券)	7	10	9	18	5	-27%	-68%		
その他引受関連手数料(*)	1	2	2	5	9	9.5倍	+80%		

グローバル株式・株式関連-日本・ブックランナー(*2) 2017年度

順位	ブックランナー	引受金額 (億円)	シェア (%)
1	三菱UFJモルガン・スタンレー	1,286	18.3%
2	野村	1,197	17.0%
3	大和	1,166	16.5%
4	みずほ	1,058	15.1%
6	SMBC日興	700	9.9%

新規公開株式引受・主幹事(*3) 2017年度

【案件数ベース】			【取引金額ベース(単位:億円)】		
順位	主幹事	件数	順位	主幹事	金額
1	野村	3	1	野村	295
1	SBIホールディングス	3	2	三井住友FG	120
3	三井住友FG	2	3	モルガン・スタンレー	28
3	大和証券グループ本社	2	4	大和証券グループ本社	22
5	みずほFG	1	5	Crosby Securities	22

円債総合-主幹事(*4) 2017年度

【SMBC日興証券単体】			
順位	主幹事	引受金額 (億円)	シェア (%)
1	SMBC日興	10,836	19.5%
2	みずほ	10,531	18.9%
3	野村	10,090	18.1%
4	三菱UFJモルガン・スタンレー	9,832	17.6%
5	大和	9,338	16.8%

(*1) 流動化アレンジメントにかかわる収益を含む

8 (*2) 出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成(海外拠点を含む)

(*3) 出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成(海外拠点を含む)

(*4) 出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成 (事業債、財投機関債、地方債[主幹事方式]、サムライ債)

◇ 2017年度 M&Aリーグテーブルは43件を獲得し、取引金額ベースで2位(占有率14.8%)、案件数ベースで1位(同5.5%)

ファイナンシャル・アドバイザー 取引金額ベース 2017年度

順位	アドバイザー	取引金額 (億円)	占有率 (%)
1	野村	9,606	28.3%
2	三井住友フィナンシャルグループ	5,020	14.8%
3	JPモルガン	4,810	14.2%
4	バンクオブアメリカ・メリルリンチ	4,368	12.9%
5	みずほフィナンシャルグループ	4,081	12.0%

ファイナンシャル・アドバイザー 案件数ベース 2017年度

順位	アドバイザー	案件数	占有率 (%)
1	三井住友フィナンシャルグループ	43	5.5%
2	みずほフィナンシャルグループ	42	5.3%
3	野村	28	3.6%
4	Deloitte	17	2.2%
5	Kaede Group	14	1.8%

主なM&Aの公表案件 2017年度

東京ガス / キャッスルトン・リソース (キャッスルトン・コモディティズ・ インターナショナル)

東京ガスの100%子会社である東京ガスアメリカは、米キャッスルトン・コモディティズ・インターナショナルが設立したキャッスルトン・リソース社の株式30%を取得
(当社はモーリスと共に東京ガスアメリカのアドバイザー)

沢井製薬 / Upsher-Smith Laboratories

沢井製薬は、米国のジェネリック医薬品メーカーであるUpsher-Smith Laboratories, Inc.の全持分を、新たに設立した米国子会社を通じて取得することを決定
(当社は沢井製薬のアドバイザー)

パナソニック / パナホーム

パナホームは、パナソニックによる公開買付けに関して賛同意見を表明するとともに、株主に対して応募を推奨することを決定
(当社はパナホームのアドバイザー)

積水化学工業・稲畑産業 / ポリマテック・ジャパングループ

積水化学工業及び稲畑産業は、ポリマテック・ジャパングループの全株式を取得。
(当社は、積水化学工業及び稲畑産業のアドバイザー)

デンソー / 富士通(富士通)

富士通は、デンソー及びトヨタ自動車と出資する富士通テンの株式41%相当を、デンソーに譲渡。
(当社は富士通のアドバイザー)

三浦工業 / アイナックス稲本ホールディングス (ライジング・ジャパン・エクイティ)

三浦工業は、ライジング・ジャパン・エクイティが保有するアイナックス稲本ホールディングスの全株式を取得。
(当社は三浦工業のアドバイザー)

三井住友銀行との連携について

【SMBC日興証券単体】

◇ 個人のお客様の口座数、法人のお客様の紹介件数はともに拡大しており、銀証連携は引き続き順調に進展

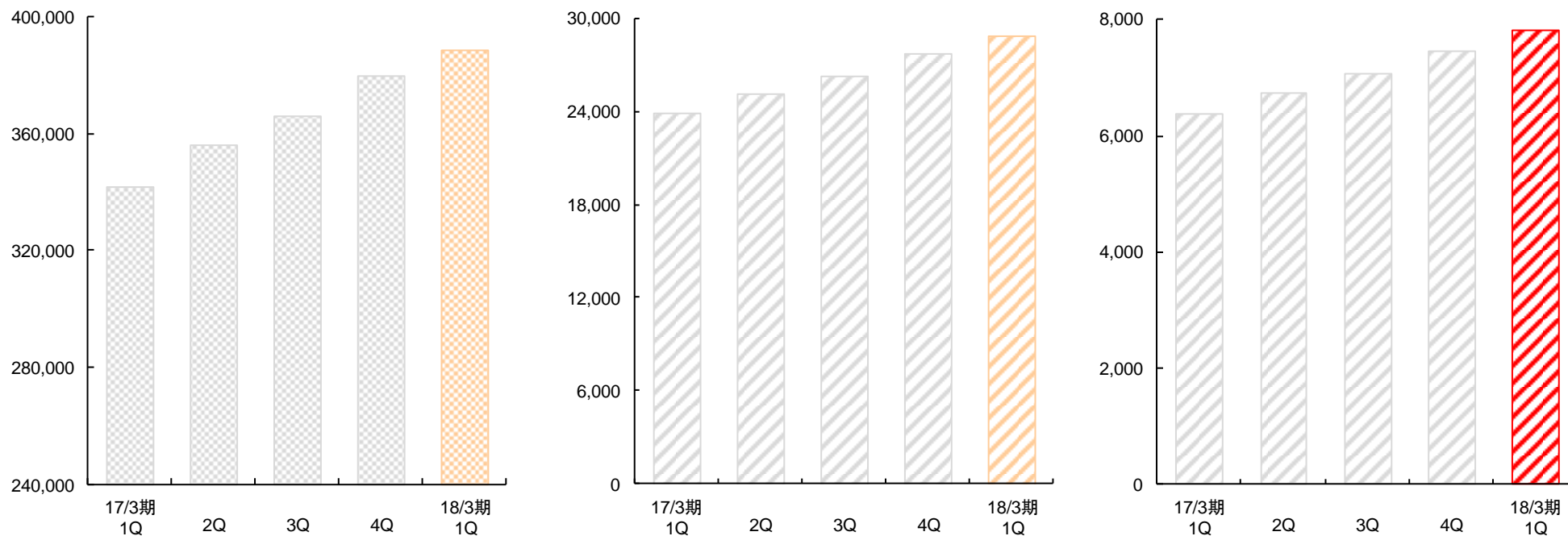
運用業務（お客様紹介業務・金融商品仲介業務^(*)）

投資銀行業務（お客様紹介業務）

個人のお客様（口座数）^(*)

法人のお客様（累積件数）^(*)

法人のお客様（累積件数）



注) 口座数の実績は各四半期末の口座数を表示。件数の実績は運用業務、投資銀行業務ともに累積の数値を表示

(*) 三井住友銀行(以下、「SMBC」)の金融商品仲介業務:当社が金融商品仲介業務を委託したSMBCがお客様に対して証券取引の勧誘・媒介等を行う

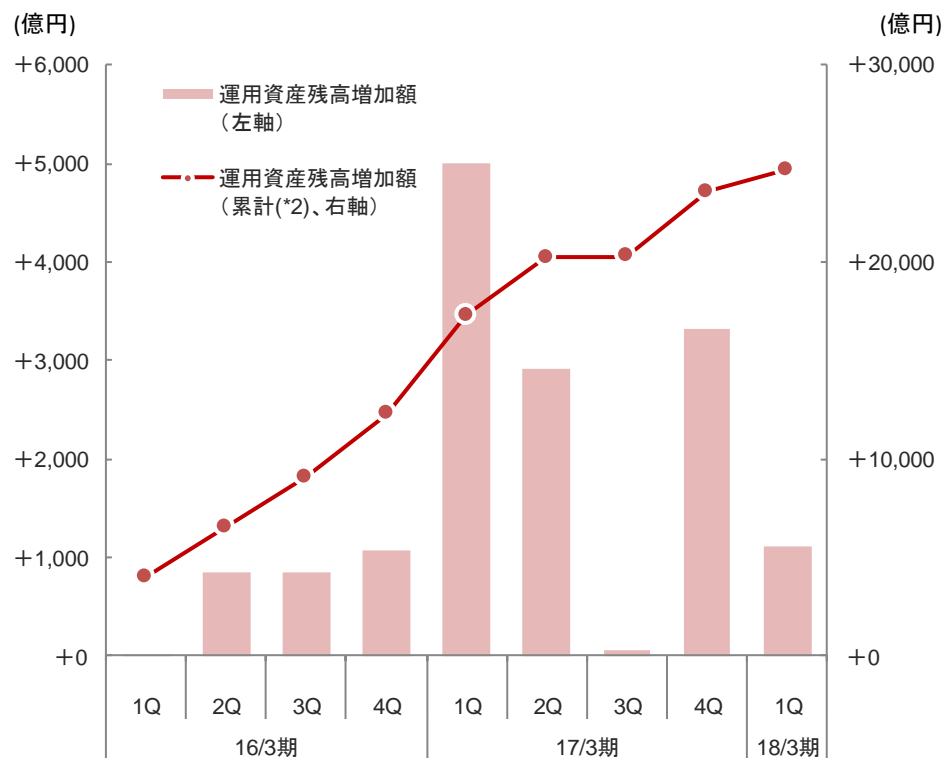
10 (**) SMBCから当社に対して紹介された個人のお客様の口座数及びSMBCの金融商品仲介業務を通じて口座を開設された個人のお客様の 各四半期末時点の口座数

(*) SMBCから当社に対する法人のお客様の運用業務に係る紹介件数及びSMBCの金融商品仲介業務の件数を累積で表示

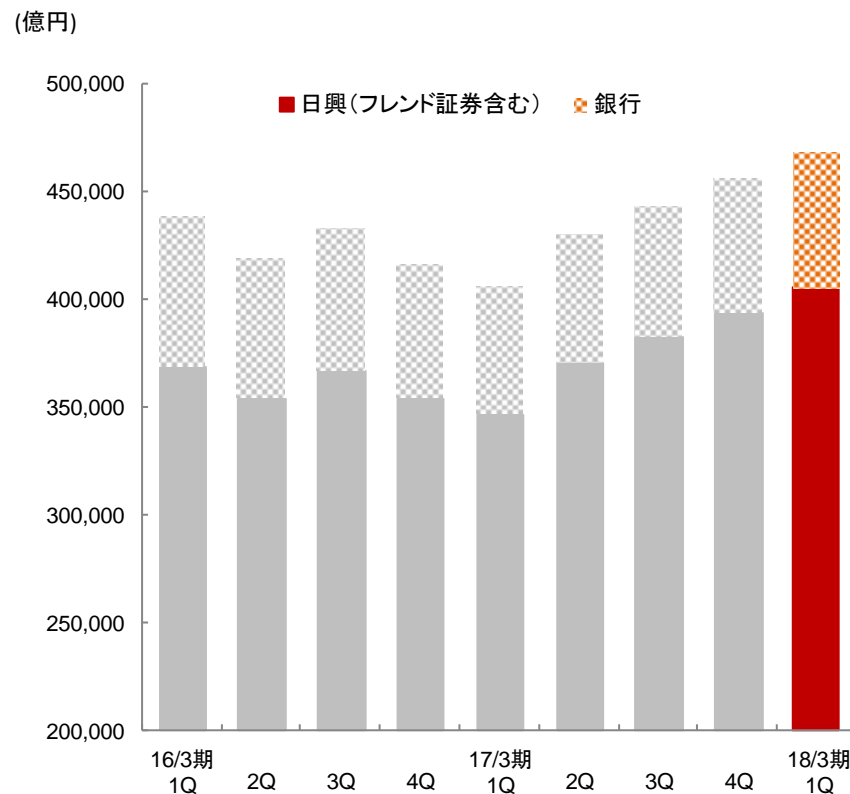
(参考資料) 銀証合算のリテール運用資産残高について

◇ リテールにおける、銀証合算の運用資産残高は増加傾向

リテール銀証運用資産残高増減額 (*1)



リテール銀証運用資産残高 (*3)



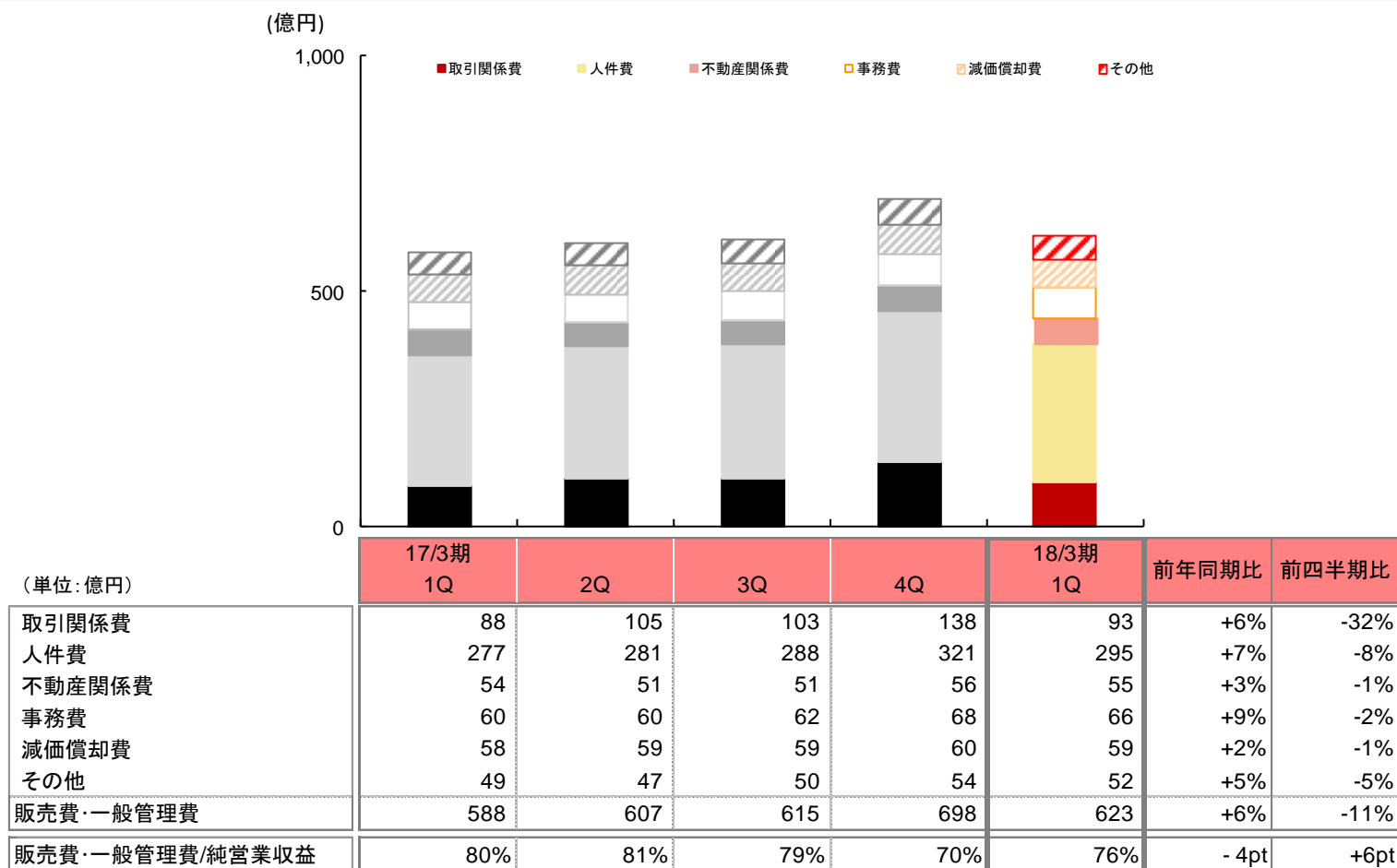
(*1) SMBCの個人運用資産残高(外貨預金、投資信託、一時払保険)と当社の営業部門(個人)の運用資産残高増減(資産導入額)の合計

(*2) 2014年3月期第1四半期からの累計値

(*3) SMBCの個人運用資産残高(外貨預金、投資信託、一時払保険)と当社の営業部門(個人以外含む)の運用資産残高(預り資産)の合計

販売費・一般管理費

◇ 第1四半期の販売費・一般管理費は623億円(前年同期比+6%、前四半期比-11%)、前年同期比では業績に連動する取引関係費や人件費が増加



連結貸借対照表・自己資本規制比率の状況

(単位：億円)	17年3月末	17年6月末	前期末比増減
流動資産	114,291	120,270	+5,979
トレーディング商品	40,583	32,070	-8,512
有価証券担保貸付金	52,331	68,249	+15,918
その他	21,376	19,949	-1,426
固定資産	2,583	2,610	+27
有形固定資産	253	253	-0
無形固定資産	784	777	-7
投資等その他の資産	1,544	1,579	+35
資産合計	116,874	122,881	+6,006
流動負債	103,549	109,113	+5,563
トレーディング商品	25,715	29,367	+3,652
有価証券担保借入金	54,441	65,661	+11,220
短期借入金/CP	14,384	7,077	-7,306
その他	9,008	7,006	-2,001
固定負債・準備金	7,882	8,283	+401
負債合計	111,431	117,396	+5,965
純資産	5,442	5,484	+41
負債・純資産合計	116,874	122,881	+6,006

【SMBC日興証券単体】

(単位：億円)	17年3月末	17年6月末	前期末比増減
基本的項目	4,961	4,968	+6
補完的項目	1,179	1,205	+25
控除資産	1,586	1,597	+11
固定化されていない自己資本	4,554	4,575	+21
リスク相当額	1,376	1,356	-19
市場リスク	571	566	-4
取引先リスク	213	171	-41
基礎的リスク	592	619	+26
自己資本規制比率	331%	337%	+6pt

長期格付 (2017年7月25日現在)

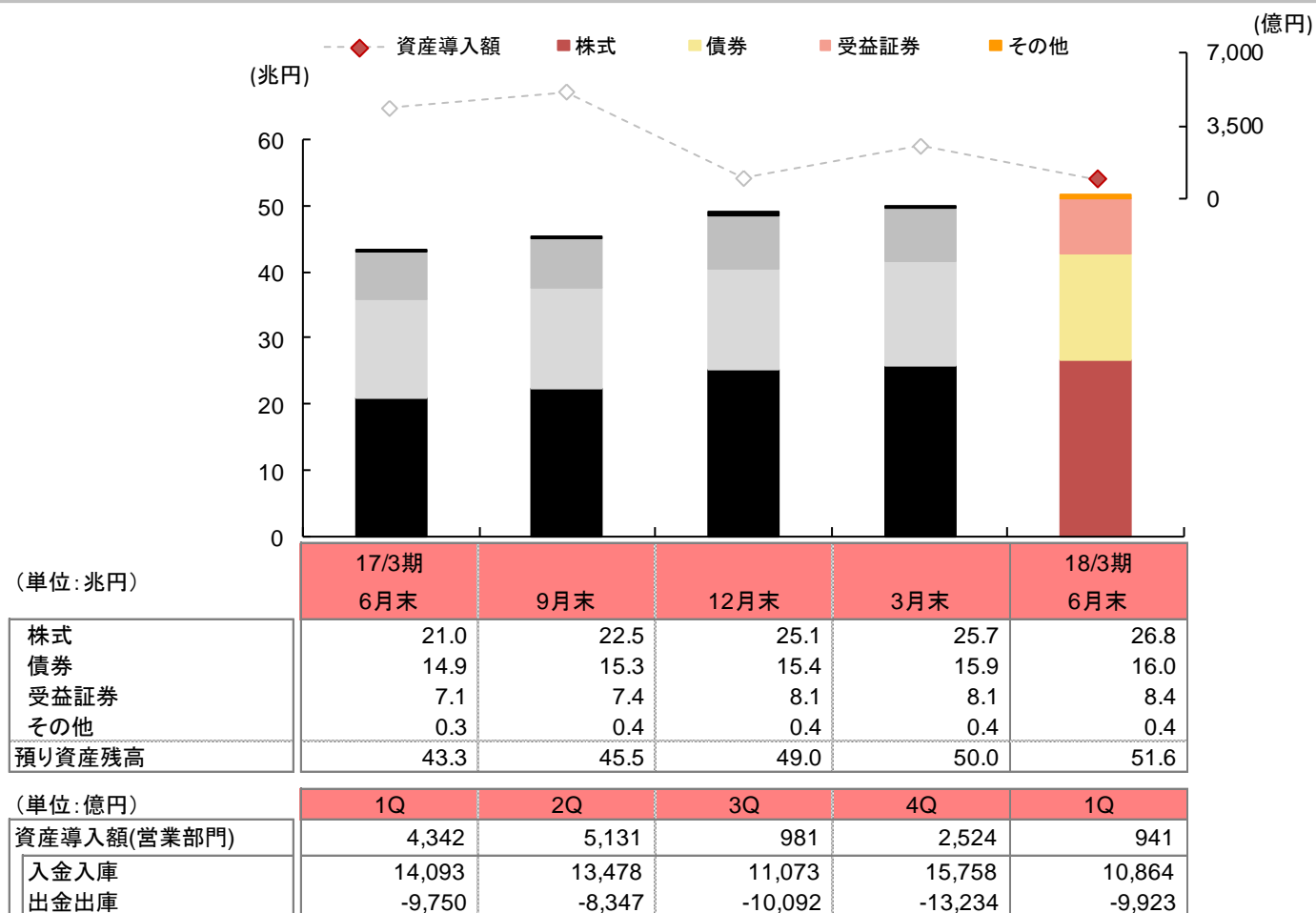
【SMBC日興証券単体】

Moody's	S&P	R&I	JCR
A1 [安定的]	A [ポジティブ]	AA- [安定的]	AA [安定的]

預り資産残高・資産導入額

【SMBC日興証券単体】

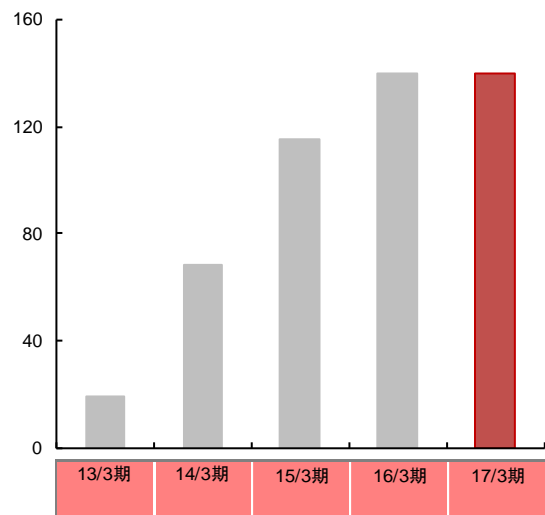
- ◇ 2017年6月末の預り資産残高は51.6兆円(前四半期比+3%)
- ◇ 第1四半期の営業部門の資産導入額は941億円



海外拠点の業績推移

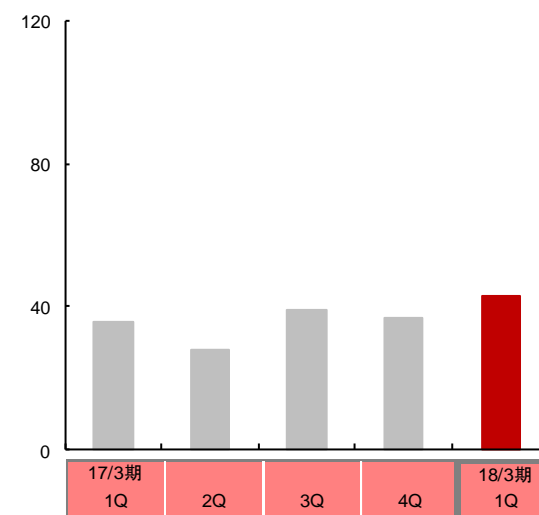
- ◇ 第1四半期の収支(内部管理ベース)は43億円(前四半期比+16%)
- ◇ 国内外の体制整備や海外拠点における銀証連携等の進捗により、収支(内部管理ベース)は堅調に推移

収支(内部管理ベース) 年度推移 (億円)



海外4拠点合計(*)	19	68	115	140	140
------------	----	----	-----	-----	-----

収支(内部管理ベース) 四半期推移 (億円)



海外4拠点合計(*)	36	28	39	37	43
------------	----	----	----	----	----

(*) 海外4拠点合計は、下記の合計値

- ✓ 連結子会社であるSMBC日興セキュリティーズ(香港)及びSMBC日興セキュリティーズ(シンガポール)の収支
- ✓ 持分法適用関連会社である英国SMBC日興キャピタル・マーケット会社(議決権比率:当社15.15%、三井住友銀行84.85%)のうち証券業務に係る収支及びSMBC日興セキュリティーズ・アメリカ会社(議決権比率:当社20.00%、三井住友銀行77.65%、SMBC Financial Services, Inc.(三井住友銀行子会社)2.35%)の収支

海外ネットワーク

英国SMBC日興キャピタル・マーケット

- 日本株・債券セールス&トレーディング
- 株式・債券引受
- M&Aアドバイザー
- IRアレンジ
- スワップ関連業務

SMBC日興ルクセンブルク銀行

- ファンド・カस्टディ
- ファンド・アドミニストレーション

SMBC日興インベストメント・ファンド・マネジメント・カンパニー

- ファンド管理

SMBC日興セキュリティーズ・アメリカ(サンフランシスコ支店)

- 日本株・米国株ブローカレッジ
- M&Aアドバイザー
- IRアレンジ

SMBC日興セキュリティーズ(香港)

- 日本株・香港株・債券ブローカレッジ
- 債券引受案件のための発行体カバレッジ
- M&Aアドバイザー
- 中華圏進出コンサルティング
- IRアレンジ

SMBC日興投資コンサルティング(上海)

- M&Aアドバイザー関連業務

SMBC日興セキュリティーズ・アメリカ

- 日本株・米国株ブローカレッジ
- 債券セールス&トレーディング
- 株式・債券引受
- ストラクチャード・ファイナンス
- M&Aアドバイザー
- IRアレンジ

SMBC日興セキュリティーズ(シンガポール)

- 日本株ブローカレッジ
- M&Aアドバイザー
- プライベートウェルス業務
- IRアレンジ

日興証券インドネシア

- インドネシア株ブローカレッジ
- 株式・債券引受
- M&Aアドバイザー
- インドネシア進出コンサルティング
- アセットマネジメント業務

英国SMBC日興キャピタル・マーケット(シドニー)

- 債券引受案件のための発行体カバレッジ



- 海外拠点
- 提携先

提携先(アジア)

KB証券(本社:ソウル)

- M&Aアドバイザー業務、DCM業務及びIPO分野における業務提携

ファースト・メトロ証券(本社:マニラ)

- M&Aアドバイザー業務及びDCM業務を中心とした業務提携

ベトロベトナム証券(本社:ハノイ)

- 海外進出支援等を中心とした業務提携

ファトラ証券(本社:バンコク)

- M&Aアドバイザー及びDCM/ECM業務における提携

コタック・マヒンドラ・グループ(本社:ムンバイ)

- M&Aアドバイザー業務を中心とした業務提携

提携先(米州)

シティグループ(本社:ニューヨーク)

- 多様な分野でワールドワイドに業務協働

モーリス・アンド・カンパニー(本社:ニューヨーク)

- M&Aアドバイザー業務を中心とした業務提携

BTGパクチュアル(本社:リオデジャネイロ)

- M&Aアドバイザー業務を中心とした業務提携

(*) 英国SMBC日興キャピタル・マーケット、SMBC日興セキュリティーズ・アメリカ及び日興証券インドネシアは当社の持分法適用関連会社

トピックス

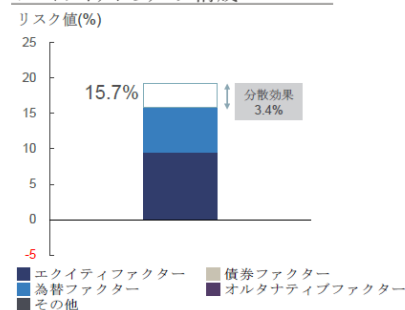
「Nikko Portfolio Risk Management」の提供を開始 ～リスク分析プラットフォームAladdin®を活用～

当社は本年6月より、富裕層のお客さまを対象に、新たなリスクマネジメント・サービス「Nikko Portfolio Risk Management(以下「Nikko PRM」)」の提供を開始いたしました。本サービスは、米ブラックロックの事業部門ブラックロック・ソリューションズが提供するポートフォリオ・リスク分析プラットフォームAladdin®を活用します。

本サービスの展開を通じて、機関投資家レベルのポートフォリオ分析をお客さまに提供し、お客さまごとの商品保有状況やご意向に応じた最適なリスクマネジメントの実現にむけたサポートを行ってまいります。Aladdin®を活用したサービスを大手機関投資家以外のお客さまに提供するのは、アジアの金融機関として当社が初めてとなります。

【Nikko PRM リスク分析イメージ】

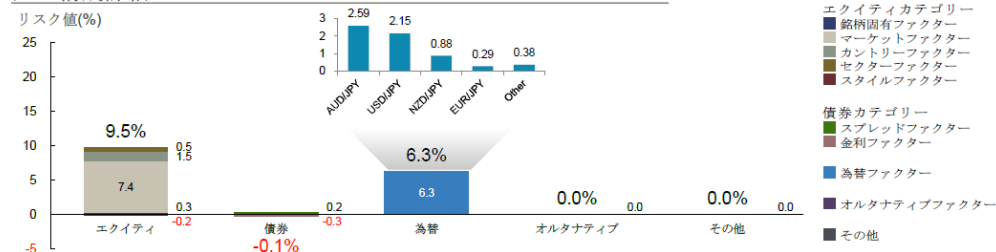
ポートフォリオのリスク構成



リスク構成比率上位 10銘柄

順位	銘柄名	資産区分	通貨	リスク構成比率 ^{※1}
1	グローバルロボティクス株式/1年決算型	国内投信	JPY	19.44%
2	LMオーストラリア高配当株(毎月分配型)	国内投信	JPY	12.82%
3	トヨタ自動車	国内株式	JPY	12.40%
4	日本電産	国内株式	JPY	10.95%
5	フィデリティ・USリートB ヘッジなし	国内投信	JPY	10.11%
6	日興JPM環太平洋ディスカバリーファンド	国内投信	JPY	7.92%
7	ミツイスミトモギンコウ	外国債券	AUD	7.52%
8	アジアカイハツギンコウ	外国債券	NZD	5.43%
9	JPモルガンチエースアンドカンパニ	外国債券	USD	4.93%
10	日本電気	国内株式	JPY	4.76%

リスク構成詳細



人工知能(AI)を活用したLINEでの自動チャットサービスの提供開始と、お客さま満足度の向上を目的に人工知能(AI)を活用した取組みを開始

- **人工知能(AI)を活用したLINEでの自動チャットサービスの提供開始**
株式会社三井住友フィナンシャルグループおよび当社とNTTコミュニケーションズ株式会社は、アクセンチュア株式会社の支援のもと、人工知能(AI)を活用した自動チャットサービスを共同で開発し、本年5月より、当社のコンタクトセンターにて、LINE問い合わせサービスの拡充機能として提供を開始いたしました。これにより、お客さまからのお問い合わせに対してより迅速な対応が可能となりました。
- **お客さま満足度の向上を目的に人工知能(AI)を活用した取組みを開始**
株式会社三井住友フィナンシャルグループおよび当社は、株式会社FRONTEOが、独自開発した人工知能エンジン「KIBIT(キビット)」を用いて、お客さま満足度を向上するデータ活用の検証を行い、高い効果が得られたことを確認しました。この結果を踏まえ、当社では、KIBITの積極活用によって、お客さまサービスの向上と、業務効率化を通じた全社的な「働き方改革」の実現に取り組んでまいります。

お客さま本位の業務運営実現に向けた取組みについて

当社は本年6月、金融庁より本年3月30日に公表された「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択することを決定し、あわせて、株式会社三井住友フィナンシャルグループおよび当社を含むグループ各社は、本原則を踏まえ、SMFGの「フィデューシャリー・デューティー宣言(2016年3月29日公表)」を改定し、「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」を新たに制定しました。

今後、本基本方針の取組状況を定期的に公表するとともに、より良い業務運営実現に向け、取組状況や取組成果等を検証し、必要な場合には本基本方針の見直しを行い、その内容を公表してまいります。

参考資料

いっしょに、明日のこと。
Share the Future



四半期損益推移 (連結)

(単位: 百万円)	17年3月期				18年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
営業収益	81,013	82,070	87,298	110,849	91,483
受入手数料	35,335	42,582	40,261	58,983	41,726
委託手数料	7,390	6,753	10,167	9,136	9,165
引受け・売出し特定投資家向け 売付け勧誘等の手数料	7,518	12,182	6,237	18,061	5,659
募集・売出し特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	7,529	9,192	8,854	14,687	10,656
その他の受入手数料	12,898	14,452	15,002	17,098	16,243
トレーディング損益	36,757	27,294	35,706	35,621	38,008
株券等	4,313	161	5,756	6,741	8,568
債券等・その他	32,444	27,132	29,950	28,880	29,439
金融収益	5,385	8,511	7,633	10,731	9,600
売上高	3,534	3,683	3,696	5,512	2,148
金融費用	4,653	4,101	6,269	6,506	7,462
売上原価	2,674	2,547	2,943	4,767	1,856
純営業収益	73,685	75,422	78,085	99,576	82,164
販売費・一般管理費	58,814	60,720	61,599	69,830	62,353
営業利益	14,870	14,701	16,485	29,745	19,811
経常利益	15,750	15,750	17,195	31,368	20,960
特別損益	-497	298	-11,277	-2,103	-372
税金等調整前当期純利益	15,252	16,049	5,917	29,265	20,587
法人税、住民税及び事業税	585	5,272	6,945	11,659	5,909
法人税等調整額	3,913	-512	-5,312	-3,024	184
当期純利益	10,753	11,289	4,285	20,630	14,493
親会社株主に帰属する当期純利益	10,750	11,281	4,279	20,631	14,491

四半期損益推移 (SMBC日興証券)

(単位: 百万円)	17年3月期				18年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
営業収益	75,119	75,977	80,448	102,913	86,651
受入手数料	33,132	40,334	37,326	56,737	39,243
委託手数料	6,679	6,081	9,155	8,606	8,449
引受け・売出し特定投資家向け 売付け勧誘等の手数料	7,518	12,182	6,237	18,061	5,659
募集・売出し特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	7,459	9,178	8,834	14,633	10,594
その他の受入手数料	11,475	12,892	13,098	15,435	14,540
トレーディング損益	36,757	27,294	35,706	35,619	38,006
株券等	4,313	161	5,756	6,741	8,568
債券等・その他	32,444	27,132	29,950	28,878	29,437
金融収益	5,228	8,349	7,416	10,556	9,401
金融費用	4,535	3,987	6,123	6,342	7,315
純営業収益	70,584	71,990	74,325	96,570	79,336
販売費・一般管理費	57,762	59,099	59,207	68,349	61,189
営業利益	12,821	12,890	15,118	28,221	18,146
経常利益	13,097	13,402	15,115	28,937	18,348
特別損益	-500	302	-11,277	-1,926	-372
税引前当期純利益	12,596	13,704	3,837	27,010	17,975
法人税、住民税及び事業税	421	4,957	6,891	11,392	5,460
法人税等調整額	3,466	-723	-5,682	-3,008	-
当期純利益	8,709	9,470	2,628	18,625	12,515

◇主要商品販売額

(単位: 億円)	17年3月期				18年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
投資信託	5,619	5,832	5,606	6,479	5,507
(株式投資信託)	(3,928)	(4,713)	(4,200)	(5,124)	(4,537)
(外国籍投資信託)	(684)	(805)	(745)	(1,083)	(711)
ファンドラップ	748	931	921	849	1,056
外債 (*1)	6,570	6,388	6,904	7,948	7,873
(外貨建て債券)	(2,140)	(2,198)	(2,399)	(2,022)	(2,212)
国内債	10,218	13,578	7,948	10,941	10,416
(個人向け国債)	(1,320)	(1,844)	(1,783)	(3,494)	(1,291)
株式募集	511	1,175	888	2,380	358
年金・保険商品	100	43	116	89	85
主要商品販売額合計 (*2)	23,765	27,949	22,384	28,687	25,295

(*1) 外債販売は、既発債の販売も含む。円建外債は、外債に含む。

(*2) 2018年3月期第1四半期より、ファンドラップ販売額を商品販売額へ含めて集計

◇マーケットシェア

	17年3月期				18年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
株券引受 グローバル株式 (*1)	19.9%	19.3%	18.6%	19.0%	9.9%
債券引受 円債総合 (*2)	20.4%	18.2%	16.8%	17.2%	19.5%
M&A 日本企業関連 (*3)	6.7%	14.7%	15.0%	14.3%	14.8%

(*1) グローバル株式・株式関連-日本・ブックランナー

(*2) 円債総合・主幹事

(*3) 日本企業関連M&A公表案件(取引金額シェア)

出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成

出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成

出所: THOMSON REUTERS

◇ダイレクトチャネル比率 (*1)

	17年3月期				18年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
約定件数ベース	92.9%	92.4%	91.1%	90.9%	92.2%
（日興イーजीトレード）	（ 89.0%）	（ 88.8%）	（ 86.5%）	（ 86.7%）	（ 88.1%）
手数料ベース	38.0%	28.3%	33.5%	24.9%	26.7%
（日興イーजीトレード）	（ 26.2%）	（ 19.8%）	（ 22.6%）	（ 17.0%）	（ 17.7%）

(*1) SMBC日興証券における個人のお客様からの株式・CB取引（委託売買、募集）に占める対面以外の比率。

◇売買代金・手数料率 (*2)

(単位: 億円)	17年3月期				18年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
株式委託売買代金	61,785	62,264	71,979	69,522	72,959
株式委託手数料(*3)	66	63	94	87	86
単純平均委託手数料率	9.4bp	8.9bp	11.5bp	11.1bp	10.8bp

(*2) 株式委託売買代金・委託手数料率は現物および信用取引を集計対象としている。

(*3) 連結ベース

営業指標-3

◇口座数

【SMBC日興証券単体】

(単位:千口座)	17年3月期				18年3月期
	16/6	16/9	16/12	17/3	17/6
総口座数	2,739	2,759	2,775	2,801	2,813
証券総合口座数	2,405	2,426	2,446	2,473	2,486
新規登録口座数	33	39	37	42	31

◇店舗数

【SMBC日興証券単体】

	17年3月期				18年3月期
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末
国内店舗数	123	124	124	124	124

◇人員数

	17年3月期				18年3月期
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末
人員数	10,352	10,325	10,198	10,112	10,698
海外4拠点人員数	443	457	467	480	491

(*) 海外4拠点人員数は、下記の合計人員数

- ✓ 連結子会社であるSMBC日興セキュリティーズ(香港)及びSMBC日興セキュリティーズ(シンガポール)の人員数
- ✓ 持分法適用関連会社である英国SMBC日興キャピタル・マーケット会社のうち証券業務に係る人員数及びSMBC日興セキュリティーズ・アメリカ会社の人員数

いっしょに、明日のこと。
Share the Future



SMBC日興証券